

著書紹介

Academic Library

著者自らが近刊を紹介いたします。

「シャネル—人生を語る」(ポール・モラン著)

現代社会学部教授 山田登世子(翻訳)

▼文庫/276ページ/中央公論新社/857円

2007.9.25発行

▼シャネルと同時代の作家ポール・モランによるシャネル伝。生い立ち、さまざまな恋、起業、ファッション・ビジネス…。「聞き書き」スタイルによって、シャネルの肉声が生々しくよみがえる。30年ぶりの新訳。



「DVD 赤ちゃんの生後1年間の驚くべき能力」

コミュニケーション学部准教授 坂田陽子(共著)

▼DVD1枚+解説書(11ページ)/ナカニシヤ出版

39,900円/2007.9発行

▼発達心理学用のDVD視聴覚資料を作成した。実子を対象に、生後間もなく(生まれる前から)1年間、反射、模倣、言語発達など9項目を縦断的に録画し、編集した。また、解説書も添付した。



「ザルツブルグの小枝」

文学部教授 久野幸子(共著)

▼B5判/701ページ/大阪教育図書/12,000円

2007.7.30発行

▼柳五郎愛知淑徳大学名誉教授の傘寿を記念して編まれた論文集。日本プロンテ協会会員が寄稿している。久野は『『ヴェレット』におけるシャーロット・プロンテの挑戦—「モーゼの死」とルーシー・スノー」と題した論文を寄稿し、シャーロット・プロンテの『ヴェレット』執筆の真の意図を探った(p253-p264)。



「ビジネス・キャリア標準テキスト

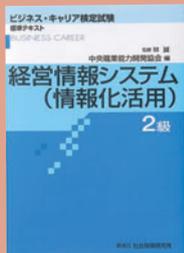
『経営情報システム2級(情報化活用)』

ビジネス学部教授 林誠

▼A5判/436ページ/社会保険研究所/3,100円+税

2007.11.6発行

▼ITを活用し、ビジネスの実務で直面する様々な課題を主体的に解決するための対策を計画・実施・評価(Plan-Do-See)する際のポイント、留意点を習得する。自らのエンプロイアビリティを高め、ビジネス・プロフェッショナルとなることを目指したテキストである。



「パブリッシュ・オア・ペリッシュ

: 科学者の発表倫理」

文学部図書館情報学科教授 山崎茂明

▼A5判/192ページ/みすず書房/2,800円

2007.11.19発行

▼近年、科学者がおこなった不正行為の深刻さが、科学界のみならず社会全体に衝撃を与える事例が頻発している。いま科学界で何が起きているのだろうか? 今日の世界の抱える問題を、「パブリッシュ・オア・ペリッシュ(発表するか、それとも死か)」という言葉から展開する。



「読める英文法、聞ける英音法」

文化創造学部准教授 中郷慶、文学部准教授

樗木勇作、文化創造学部教授 ベヴァリー・カレン、外国語教育センター講師 二村慎一(ほか2人の共著)

▼B5判/144ページ/英宝社/1,995円

2008.1.15発行

▼大学英語テキスト。全13ユニットはBoost your reading skillsとBoost your listening skillsの二部で構成されている。厳選された文法事項と文型を学び、文法力・読解力向上を図る。また、リズム、イントネーション、連結、同化、脱落などの英音法を学び、リスニング向上を目指す。TOEIC形式のミニテスト付。



「地域金融機関のサービスマーケティング」

ビジネス学部准教授 大塚英揮(共著)

▼A5判/297ページ/近代セールス社/2,900円+税

2006.12.20発行

▼本書では、信用金庫や第二地銀といった地域に根ざす金融機関を取り上げ、大手都市銀行との熾烈な競争に耐えぬくために必要となる戦略を、サービスマーケティングの視点から紹介している。大塚は大垣共立銀行、呉信用金庫の2つの事例分析を担当した(第3章事例2、事例5)。



「全経簿記上級 商業簿記・会計学テキスト」

(全国経理教育協会編)

ビジネス研究科准教授 浅野敬志(共著)

▼B5判/235ページ/中央経済社/2,500円+税

2007.3.25発行

▼本書は、全国経理教育協会が実施する検定試験である「全経簿記上級」(日商簿記1級に相当)の公式テキストである。執筆者には試験委員も名を連ねており、試験要領・出題範囲に完全準拠した内容になっている。筆者は第13章「連結財務諸表」と第15章「中間連結財務諸表」を担当した。



「新法学レッスン」

医療福祉学部教授 初谷良彦(共編著)

▼A5判/360ページ/成文堂/3,300円+税

2007.4.30発行

▼1998年発行の「法学レッスン」の全面改訂版。大学生や社会人が教育的科目としての「法学」を学ぶために書かれたもの。初心者により分かり易く、興味を持つように、随所に写真、スペシャルレッスン、ケース、チャート、資料等を入れ、各章の末尾に参考文献をあげるなどの配慮をしている。



「児童心理学の進歩—2007年版—」

コミュニケーション学部准教授 坂田陽子(共著)

▼A5判/362ページ/金子書房/10,000円+税

2007.6.20発行

▼この本は、わが国を中心に過去1年間の発達研究の動向を紹介するために毎年刊行されている。第3章「注意の発達—生涯発達研究の視座を求めて」(P63-87)を執筆した。注意の発達を乳児期から高齢期まで解説し、新しい視点を組み込んだ。



「昭和の戦争と文学者」

文学部教授 都築久義

▼四六版/303ページ/私家版/2007.8.3発行

▼戦争の時代を生きた者の言動を、戦後の価値判断で評価することは虚妄であり、偽善であるという立場から、国文学専門誌や学会誌等に発表した論文集。戦時下の文学と文学者に関する著書は3冊目であるが、本書には昭和60年以降の論文を収録している。



「アイリッシュハーブの調べ—ケルトの神話集」

(マリー・ヒーニー著)

文学部教授 大野光子(監修)(共訳者 河口和子、

河合利江[本学院生])

▼四六判/200ページ/春風社/1,890円

2007.9.14発行

▼塔に囚われた姫、邪悪な巨眼の魔王、白鳥にされたきょうだい、知恵の鮭、島の支配をかけた神々の壮大な闘争。ファンタジーの永遠の源泉「ケルト神話」を、やさしい物語に。矢萩多聞の美しい挿画で贈る。日本図書館協会選定図書。

